

なぜ勉強するのか、勉強する意味を考えよう

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今は大学入試のまっただ中で、センター試験が行われていますね。試験を受けている方々にはぜひ頑張ってくださいと思います。高校入試は、私立高校入試がそろそろ終わりつつあります。高校入試の受験生の皆さんは 3 月上旬に行われる県立高校入試に向けて一所懸命勉強していることと思いますので、ぜひ頑張ってくださいね。大学入試、高校入試、私立中学入試、中高一貫校入試などの受験生をお持ちの家族の方々は、お子さんを温かく見守っていただきたいと思います。
3. 私は、受験勉強をするときにも「なぜ勉強するのか」を明確にしたほうがよいと思います。そこで今日は、「なぜ勉強するのか、仕事との関係はどうか」というテーマでお話をさせていただきます。
4. 勉強する理由には、自分自身を高めるためという理由もありますが、このようなことをしたいがために勉強するということが一番大切かもしれません。例えば、社会に出たら様々な形で仕事をするのが求められますので、「なぜ仕事をするのか」を考えた上で勉強するとよいと思います。
5. 例えば、私は中学生のときから弁護士になりたいと思っていました。弁護士になるためには司法試験を受けなければならない、それには大学に進学して教養課程を終えなければならない。そのためには高校に行かなければならず、高校入試を受けなければならないと考えました。このように、なりたいものが明確になっていましたので、高校に進学するのであれば普通科がよい・大学に行くのであれば司法試験に受かりやすい法学部の法律学科に進むのがよいと考え、それぞれを選びました。
6. その当時、司法試験に多数合格する大学は東京大学・京都大学・中央大学・早稲田大学・慶應義塾大学などでした。私は中央大学と慶應義塾大学の 2 校に合格しました。ただ、早稲田大学は落ちてしまいました。落ちた理由の 1 つは、現役で受けたのであまり細かい勉強をしていなかったために、早稲田大学の入試問題にはあまりにも細部にわたる問題が出され、私にとっては難しすぎたためです。2 つ目の理由は、教室の暖房が効きすぎていて暑くて暑くて力が発揮できなかったからです。
7. 私の昔話はともかくとして話をもとに戻しますと、仕事を中心にして「なぜ高校に進学するのか」「なぜ大学に行くのか」「そのためにはどうしたらよいのか」を考えるのも 1 つの方法ではないかと思います。

8. では、仕事は何のためにするのでしょうか。以前にもお話ししましたが、1つの理由は生活できるだけの収入を得るためです。生活できるだけの収入がなければ大変なことになってしまいますので、これは当然のことです。ただし、家族の収入の全部を合計したもので家族全員が生活できればよいのですから、一人で頑張らなくてもよいと私は考えます。家族全員で生活できるだけの収入を得るために自分もある一定の収入を得なければならない。これが仕事をする1つ目の理由と私は考えます。

仕事をする2つ目の理由は、仕事をすることで自分を活かす、つまり自己実現をするためです。この2つを念頭に置きながら、では自分にとってどのような仕事がよいのかを考えるのもよいと思います。

9. 世の中には実にたくさんの仕事があります。この「開倫塾の時間」を放送して下さっている CRT ラジオ栃木放送の局の中にも、華やかなアナウンサーの方だけではなく、番組を支えるスポンサーを担当する営業の方、いろいろな機材を操作する方、電波の発信基地をメンテナンスする方などたくさんの方々がいらっしゃって放送を送っています。仕事はたくさんあります。その中の1つ1つの仕事にはなかなか表には出ないけれどもその仕事を支える多くの仕事があるということも、少しずつ勉強していくとおもしろいと思います。このように、仕事とは何かということを考えながら進路を選ぶことも大事だということです。

10. この放送をお聴きの皆さんは大人の方・社会人の方が多いと思いますので、お子さんたちに「自分の仕事のお客様は誰か」「自分が今している仕事はどのような内容なのか」「どのような理由でその仕事を選んだのか」「仕事をしてうれしかったことは何か」などについて、また、現代の社会の流れ・必要とされている人材・仕事に臨む心構え・働く意味などについてお話をしていただきたいと思います。

11. 私は、働く意味は生活できるだけの収入を得るためと自己実現をするためと考えていますが、放送をお聴きの皆さんにはそれぞれの考え方があると思います。それを小学高学年の皆さん、中学生・高校生・専門学校生・短期大学生・大学生の皆さん、そして仕事に就いて間もない10代後半・20代の皆さんにじっくりと語っていただくと、非常に役に立つと思います。

12. それから、例えば中学生には「私は中学生のときにはこのような夢を持っていたよ」「中学校時代に身に付けておいたほうがよいのはこのようなことだよ」ということをできるだけ具体的にお話すると、学校の先生が話されるよりもはるかに説得力があり、素晴らしいお話になると思います。ぜひ行っていただきたいと思います。

13. ただ「勉強しろ、勉強しろ」と言うだけでなく、何のために仕事をするのか・何のために働くのかといった観点から勉強する意味を考えるきっかけを子どもたちに与えることも非常に大切なことであると思います。どうかよろしくお願い致します。

14. 最後になりますが、受験生の皆さんは風邪をひかないように十分に注意をして下さいね。外出先から帰ったら、薬用石けんで手を30秒間ぐらいていねいに洗い、うがいも30秒間ぐらい行って予防に努めて下さい。

それから、運転している皆さんは前の車に追突しないように車間距離を十分にとって運転していただきたいと思います。

—加筆・訂正 2013 年 2 月 11 日 林明夫記—